

# 医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 131 号  
2011 年 5 月 13 日  
日本医労連増員闘争本部  
TEL: 03-3875-5871  
FAX: 03-3875-6270



新潟県医労連は、5月7日にナースウェーブを行いました。30名が参加し、大型スーパーで健康チェック等を行いながら、大幅増員署名と震災救援カンパを訴えました。2時間の行動で302筆、6,273円を集約しました。

群馬県医労連は、連休中の5月3日に行いました。前橋駅で12名が1時間行動し、68筆の署名を集めました！

福井では、事前に記事が掲載されました。(赤旗より)

## 福井県医労連 医療改善署名4400人超

### 21日にナースウェーブ宣伝

福井県医労連が医師や看護師、介護職員らの過酷な夜勤の改善と大幅増員を求めて取り組んでいる国会請願署名が44000人分を超え、目標の50000人に近づいています。医療・介護の現場では人員不足による16時間以上の夜勤などから離職者が後を絶たず、

日本医労連の実態調査では、看護師の3人に1人が切迫流産、10人に1人以上が流産を経験しています。県医労連は昨年9月、署名の取り組みを開始。①ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内とし、安全・安心の医療を実現する一歩を指し、署名にとりかかっています。街頭や医療機関の外などでは署名に協力した人たちは、「看護師の」母が夜勤で疲れていつも眠そうだな」など、切実な声が寄せられています。

堀田圭佑書記長は「働き続けられる職場づくりと、安心できる医療・福祉のため、現場と患者の願いを届け、実現させる署名です。ぜひ成功させたい」と話しています。県医労連では、看護の日(15日)に呼応して21日、福井市のアオッサ前で、白衣姿で「ナースウェーブ宣伝行動」に取り組みます。

## ナースウェーブで署名一気に！

全国のみなさんの奮闘に追いつくと、会館内でも二日に、館内ナースウェーブとして入谷駅で行動を計画しましたが、……。雨、あめ、……。すみません、また頑張ります！決意だけは示すこと記念写真だけとりました。全厚労、全日赤、健保、国共病組のみなさんも参加しました。

